

先輩に学べ!

パネルディスカッション&講演会



パネルディスカッションの様子

翌日は午前中に、鍵本聡先生の講演『数学をゲームのように楽しもう』を聴いた。前半は微分と積分、因数定理が使われた問題を、3人1組になつて解いた。事

講演を聞き、問題を解く



前にそれぞれの練習問題のプリントを解いていたため、多くのグループが問題に正解することができた。後半には、前半の問題をふまえてのお話をしてくださった。鍵本さんは数学について「自由に使えないと不便でしょうがないんです」と述べられ、さらに「数学が便利ツールだということ、意識して勉強してください」とおっしゃった。また、今習っている単元がわからなくても、その少し先の単元を習うと理解できる、と学習のコツも教えていただいた。

パネルディスカッションに参加した卒業生は、傍島宏貴君(滋賀医大)、安本悠一君(京大)、田中満陽さん(京大)、古川沙織さん(同志社大)、川瀬満智子さん(滋賀医大)、虎山駿太君(滋賀大)、宇根駿人君(京大)の7名。パネルディス

カッションは傍島君の司会で進められ、勉強と部活の両立のコツ、予習の仕方などの話題であった。特に川瀬さんはSSクラスについて、虎山さんは野球部についてなど、他の方からは聞けない話をして下さった。OBの方へ「高校時代、恋していましたか」などの質問があったり、とても和やかな雰囲気だった。



ミルクプリンで乾杯!

話をしてくださった。鍵本さんは数学について「自由に使えないと不便でしょうがないんです」と述べられ、さらに「数学が便利ツールだということ、意識して勉強してください」とおっしゃった。また、今習っている単元がわからなくても、その少し先の単元を習うと理解できる、と学習のコツも教えていただいた。



宿泊オリエンテーションの1日目の夜、彦根東高校OB・OGの方によるパネルディスカッションが行われた。さらに2日目には、鍵本聡さんによる講演会が開かれた。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4

好評!

1日目の夕食は、テーブルごとに食べた。パンパンジーやから揚げなど。デザートには、「ウーロン茶入りミルクプリン」というユニークなメニューもあり、生徒

に好評だった。これを食べたある生徒は「名前を聞いて、少し期待していたが、普通のミルクプリンの味だった」と話してくれた。

2日目は、学年全員でラジオ体操をした後の朝食だった。ご飯にお味噌汁焼き魚などだった。

ホテルで食べた最後の料理は、予想もしていなかった牛丼だった。講演会に加え2時間の自学で、お腹がとて減っていた私たちがとって、牛丼はとてもありがたかった。そしてその後の行程に備えて、力を蓄えた。